

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2007-275640(P2007-275640A)
 【公開日】平成19年10月25日(2007.10.25)
 【年通号数】公開・登録公報2007-041
 【出願番号】特願2007-198967(P2007-198967)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月26日(2008.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に遊技媒体を打ち込むことにより遊技が行なわれる遊技機であって、
 遊技媒体が入賞可能な開放状態と遊技媒体が入賞不可能な閉鎖状態とに変化可能な可変
 入賞装置と、
 該可変入賞装置内に設けられた特定領域及び該特定領域以外の領域である非特定領域と

前記遊技領域に設けられた始動領域と、

判定用数値を更新する数値更新手段と、

前記始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて前記数値更新手段により更新され
 た判定用数値を抽出する数値抽出手段と、

該数値抽出手段が抽出した判定用数値を所定数を上限として記憶する保留記憶手段と、

該保留記憶手段に記憶されている判定用数値が大当り判定値と一致するか否か、及び判
 定用数値が小当り判定値と一致するか否かを判定する当り判定手段と、

前記始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて複数種類の識別情報の可変表示を
 開始し表示結果を導出表示させる可変表示装置と、

該可変表示装置が導出表示する表示結果として、前記当り判定手段が判定用数値と小当
 り判定値とが一致すると判定した場合には第1表示結果を導出表示させ、前記当り判定手
 段が判定用数値と大当り判定値とが一致すると判定した場合には第2表示結果を導出表示
 させる可変表示制御手段と、

前記当り判定手段が判定用数値と小当り判定値とが一致すると判定した場合に、前記可
 変表示装置に前記第1表示結果が導出表示された後に前記可変入賞装置を開放状態に変化
 させ、前記可変入賞装置に入賞した遊技媒体が前記特定領域を通過したことを条件に遊技
 者にとって有利な特定遊技状態に制御する第1特定遊技状態制御手段と、

前記当り判定手段が判定用数値と大当り判定値とが一致すると判定した場合に、前記可
 変表示装置に前記第2表示結果が導出表示された後に前記特定領域への遊技媒体の通過の
 有無にかかわらず前記特定遊技状態に制御する第2特定遊技状態制御手段と、を備え、

前記保留記憶手段は、前記可変入賞装置を開放状態に変化させる開放制御の実行中にお

いても遊技媒体が前記始動領域を通過した場合には前記数値抽出手段が抽出した判定用数値を記憶可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、係る遊技機を改良した遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、遊技領域に遊技媒体を打ち込むことにより遊技が行なわれる遊技機であって、遊技媒体が入賞可能な開放状態と遊技媒体が入賞不可能な閉鎖状態とに変化可能な可変入賞装置と、該可変入賞装置内に設けられた特定領域及び該特定領域以外の領域である非特定領域と、遊技領域に設けられた始動領域と、判定用数値を更新する数値更新手段と、始動領域を遊技媒体が通過したことにともづいて数値更新手段により更新された判定用数値を抽出する数値抽出手段と、該数値抽出手段が抽出した判定用数値を所定数上限として記憶する保留記憶手段と、該保留記憶手段に記憶されている判定用数値が大当り判定値と一致するか否か、及び判定用数値が小当り判定値と一致するか否かを判定する当り判定手段と、始動領域を遊技媒体が通過したことにともづいて複数種類の識別情報の可変表示を開始し表示結果を導出表示させる可変表示装置と、該可変表示装置が導出表示する表示結果として、当り判定手段が判定用数値と小当り判定値とが一致すると判定した場合には第1表示結果を導出表示させ、当り判定手段が判定用数値と大当り判定値とが一致すると判定した場合には第2表示結果を導出表示させる可変表示制御手段と、当り判定手段が判定用数値と小当り判定値とが一致すると判定した場合に、可変表示装置に第

1 表示結果が導出表示された後に可変入賞装置を開放状態に変化させ、可変入賞装置に入賞した遊技媒体が特定領域を通過したことを条件に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する第1特定遊技状態制御手段と、当り判定手段が判定用数値と大当り判定値とが一致すると判定した場合に、可変表示装置に第2表示結果が導出表示された後に特定領域への遊技媒体の通過の有無にかかわらず特定遊技状態に制御する第2特定遊技状態制御手段と、を備え、保留記憶手段は、可変入賞装置を開放状態に変化させる開放制御の実行中においても遊技媒体が始動領域を通過した場合には数値抽出手段が抽出した判定用数値を記憶可能であることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の発明では、特定遊技状態への移行の期待感を複数パターン提供することができ、遊技の興趣を一層向上させることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0494

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0494】

本発明は、パチンコ遊技機などの遊技機に適用可能である。